

TTC DSL 専門委員会スペクトル管理サブワーキンググループ

日付：2004年9月17日

提出元：イー・アクセス株式会社¹

題名：第3版制定時の既存システムの扱いについて

第3版に向けた基本方針に関連する題記の件について、以下にて当社の考え方を述べる。

新版作成時における適合性評価については、以下を基本的な考え方として整理することを提案したい。

旧版において適合性評価がなされている伝送システム

フィールド導入基準としても位置付けられているスペクトル管理標準を改版することは、ユーザ含めDSL等マーケットに対する影響は大きい。よって、旧版との連続性/整合性を確保することは改版を行う場合の重要項目と考えるので、旧版での収容条件を担保するルールとする（より厳しくならない取扱いを行う）。

SWG第13回会合において、暫定運用を行うことが合意された伝送システム

第3版制定により適合性再評価を行った結果、仮に収容条件が暫定運用より厳しくなった場合、特例等を設け暫定運用のレベルは確保することを要望する。

なお、新版制定以降に適合性評価が行われる伝送システムについては、第3版の標準に従い決められた内容にて、フィールド導入を行うことで良い。

本寄書に関連する課題番号	C.1.8.1
--------------	---------

以上

¹ イー・アクセス株式会社
渡辺芳治 園畑秀樹 南 健太郎 大橋 功